

「完熟農園マルシェ」への出店を機に販売拡大を目指す

南アルプス特産品企業組合・ほたるみ館(岩間花子理事長・組合員102名)は南アルプス市の旧櫛形町の主婦を中心に平成16年に設立された組合で、組合内の6つのグループごとにブルーベリー、甲州小梅、大豆、小麦などの地域の農産物を材料とする加工食品を製造し、国道52号線沿いの春泉美術館横の「まちの駅」において地元農産物とともに販売を行ってきた。



アヤメまつりに出店

また、販売促進の一環として、南アルプス市や地元商工会が主催する各種イベントにも積極的に出店し、地域

特産品のPRを行ってきた。去る5月5~6日の両日に開催された「アヤメフェア」でも、メイン会場である櫛形総合公園に出店し販売PRを行った。当日は満開のアヤメのもと晴天にも恵まれ、多くの家族連れでにぎわい、売上も好調であった。

南アルプス市では、平成27年6月、中部横断自動車道の南アルプスIC正面に農林事業六次産業化拠点として直売所「完熟農園マルシェ」をオープンする。この施設は、南アルプスの風土・文化を世界に伝える喜び「日本の農の風景を世界に!」発信する拠点と位置づけられ、組合ではマルシェ内の一画を借り受け、農産物及び農産加工品の販売を行う準備を進めている。そのために、昨年度から南アルプス市の支援を受け、経営アドバイザーの指導のもと、マルシェ向け新商品の開発にも取り組んでいる。

組合では、地域住民をターゲットとする「まちの



駅」と、外国人を含めた観光客をターゲットとする「完熟農園マルシェ」の2か所の異なるコンセプト販売拠点向けの商品のバランスを取り販売拡大を目指している。あわせて、各種イベントへの積極出店によりオリジナルの加工食品のPRも進めようと、5月21日の総会で選出された新執行部体制のもと、事業の拡大により組合の発展を目指している。